

子どもの成長発達を促すために 必要な玩具についての考察(1)

— 西ドイツ製玩具・プレイモビルを
利用しての実践研究の報告 —

芸 術 教 育 研 究 所 お も ち 研 究 室

89年の春、幼稚園、保育園、プレイルーム等に勤務する保育者九名を中心に、“おもちゃ研究会”が芸術教育研究所内で発足しました。

以来、玩具（西ドイツ製プレイモビル）を用いた実践研究を行い、月一回の研究会での報告を続けながら、まもなく一年を迎えようとしています。

本稿では、今後、四回にわたって、この一年間の実践研究の内容と結果を紹介してまいります。

また、そのうえで子どもの成長発達を促すために必要な玩具について、その内容と条件の検討も加えていきたいと思います。

◆ 四回のレポート内容

第一回：研究概要・実践報告Ⅰ 人形づくり、船づくりを中心

第二回：実践報告Ⅱ 船出の旅たち、動物との出会いを中心

第三回：実践報告Ⅲ 遊園地づくりとクリスマスを中心

心に

第四回：実践報告まとめ・考察、今後への提言

*

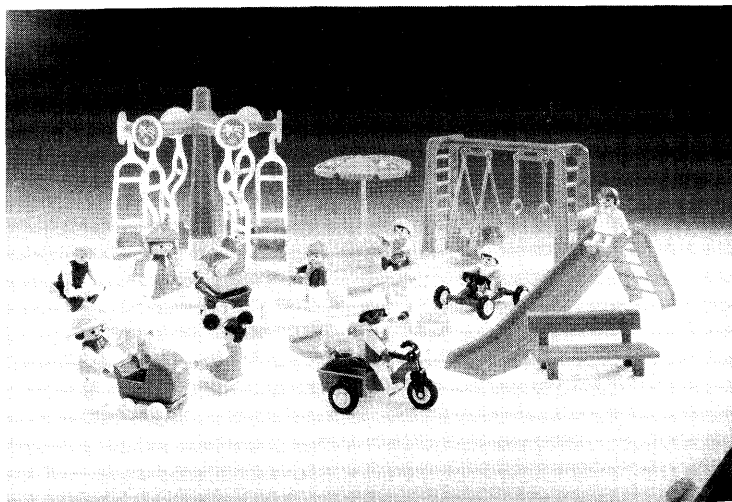
■研究の目的とねらい

幼児をとりまく保育環境の充実、中でも、玩具を望ましく与え、よりよい用い方をすること、保育活動の幅を広げ、豊かなものとするという点で、非常に大切であるといえます。

本研究では、プレイモビル（後で説明します）という、いわゆる既製の玩具を、保育者のさまざまな働きかけによって活用しながら、子どもの成長や発達を促していきます。そのような中から、既製の玩具の有効性を考え、さらに、望ましい活用方法をさぐることを目的としています。なにしろ幼児の世界では既製玩具の活用に関する研究活動が弱いので、そこに焦点をあててみました。

■プレイモビル紹介

プレイモビルは西ドイツ製の玩具で、現在は世界八十



▲ ① プレイモビル 遊園地シリーズ

か国以上の国々で活用されています。各種のシリーズがあり、子どもたちが自由に遊びながら、生活体験を通して、創造力・表現力・社会性を身につけることが出来る



▲ ② プレイモビル 動物園シリーズ



◀ ③ プレイモビル 海賊船シリーズ

玩具として評価されています。

■テーマについて

先にあげたプレイモビルシリーズのうち、「海賊船シリーズ」「動物シリーズ」「遊園地シリーズ」を中心としながら、一年間を通して、ストーリー遊びを展開していきます。テーマは「旅」。子どもたちは、各々が創りだす、旅のストーリー遊びの中で、想像力・表現力・社会性を育んでいきます。

本レポートは、その遊びの様子について、年齢別に整理し、一年間でどのような変化があるのかを考察していったものです。

◆ストーリー遊びの年間課題

五月…自分の人形をつくる

六月…船をつくる

↓実践報告Ⅰ

七月八月…船の完成と出帆（旅立ち）

九月…島の発見・動物との出会い

↓実践報告Ⅱ

十月十一月…遊園地づくり・遊園地での遊び

十二月…クリスマスの訪れ

一月…旅のおわり

↓実践報告Ⅲ

二月…思い出の発表とまとめ

↓実践報告Ⅳ

この課題を手がかりに、一歳～五歳までの各年齢に応じた具体例を保育者が考えつつ、実践を展開していきました。

■実践を行った保育機関と対象となった子ども

年齢 人数 保育機関 （担当保育者）

一歳児（約六名）…妙福寺保育園（串田）

二歳児（約十名）…妙福寺保育園（小泉）

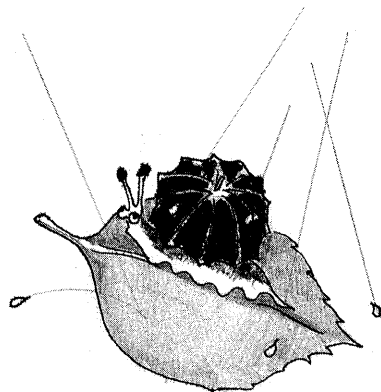
〃（約十七名）…文京幼稚園ブレイルーム（奥村）

二歳児（約十七名）…あすなろ保育園（川辺）
 三歳児（約十五名）…日の丸保育園（佐藤）
 四歳児（約二十七名）…東江幼稚園（富田）
 ”（約二十三名）…春光幼稚園（田中）
 五歳児（約二十八名）…昭和幼稚園（阿部）
 一、三歳児（約八名）…（複合）…株ヤクルト・市川託
 児所（中込）

◆実践報告◆

〈五月……自分の分身である人形をつくろう〉

| 1 歳児 | |
|---|-----------------|
| <p>○白人形を与え、ペンで柄つけをさせる。</p> | <p>保育者の働きかけ</p> |
| <p>○ペンを口にくわえたり、たたきつけてへこませたりしてしまう。 ○人形を握りしめている。</p> | <p>子どもの活動</p> |



| 4 歳児 | 3 歳児 | 2 歳 児 |
|--|--|--|
| <p>○人形を配って、模様づけをさせる。</p> | <p>○子ども自身の洋服などを思い起こさせ、人形の洋服にも、模様をつけさせる。</p> | <p>○白人形を与え、ペンで柄つけをさせる。</p> <p>○子どもの好きな人形を選ばせて、シールを貼らせる。(シールは保育者が多種準備する)</p> <p>○人形に合う帽子やかごを作って与える。</p> |
| <p>○人形を組み立て、さまざまな色を使って、模様を描く。</p> <p>○人形をバラバラに分解したりする。</p> | <p>○二、四色の色を使って色ぬりをする。</p> <p>○人形を外へ持ち出して遊ぶ。 (遊具にのせたり、並べかえたりする)</p> | <p>○好きな色のペンを持って色つけをする。</p> <p>○自分の好きな人形とシールを選んで貼りつける。</p> <p>○着せかえっこをして遊ぶ。</p> |

〈六月……船をつくろう〉

| |
|---------------------------|
| 4 歳児 |
| ○人形に好きな名前をつけさせる。 |
| ○自分と人形・人形と人形などで話しかけながら遊ぶ。 |

| | |
|--|--|
| 1 歳児 | 2 歳児 |
| <p>保育者の働きかけ</p> <p>○保育者が船をつくるところを見せたい、二週間ほど展示する。</p> | <p>子どもの活動</p> <p>○保育者が作っている様子を見るが、すぐ他のことに興味をうつす。</p> <p>○人形を船にのせたり、船をひっぱったりする。</p> |
| <p>歳 児</p> <p>○波の様子を声と体で表現させてから、保育者が完成した船を出す。</p> <p>○青いシートの上に保育者が完成した船をのせる。</p> | <p>○波の表現と船の登場を喜ぶ。</p> <p>○船に人形をのせたり、食べ物（画用紙でつくったもの）を積んだりして、走らせる。</p> |

| 4 歳 児 | 3 歳 児 | 2 |
|---|---|---|
| <p>○身近にある木片で船をつくらせる。(ボンドで接着したり、くぎをうって組み立てたりして、マジックで着色する。)</p> <p>○木片でつくった船と人形を組み合わせて遊ばせる。すずらんテープを使つての川づくりもさせる。</p> <p>○完成絵を見せながら、船の組み立てを促す。</p> | <p>○パッケージの船の完成絵を見せ、子どもの前で、最初だけ組み立てる。(続きは保母がつくっておく)</p> | <p>○子どもに、もう一つの船の組み立てを促す。</p> |
| <p>○人形どうしで会話をする。模造紙や色画用紙をつないで川づくりを始める(写真⑤)</p> <p>○作り方のプリントや完成品を見くらべながら、部品を組み合わせて、完成させる。</p> | <p>○わからないところを保育者に補助してもらいながら、工夫して木片の組み合わせを楽しむ(写真④)</p> <p>○保母が組み立てる様子をじっと見つめ、部品をさわったりしながら参加する。短時間で他のことに興味をうつす。</p> | <p>○船の組み立てに参加するが、二十分程度で半数以上の子どもが他に興味をうつす。</p> |



▲④ 木片を使っての船づくり。マジックを使って着色する4歳児。

▼⑥ いよいよ、プレイモビルの船づくり開始!!
細かい組み立て作業に熱がはいる



5 歳児

○地図を貼り、『船のはじまり』などの本を読んで聞かせる。「マルコポーロの冒険」の紙芝居を見せたり、昔の船の活躍の様子を話す。

○興味深く話をきいている。本を貸してほしいという子もいる。



▲ ⑤ 「すずらんテープの川」をつくって遊びを広げる。

5 歳 児

○宝さがしの歌をうたう。

○大型ブロックで船づくりをする。

○部品に番号をつけ、袋に入れて配布。
クラス全員が流れ作業で、組み立てていく。

○歌と動作を楽しみ、盛り上がる。

○机をうらがえして船底とし、ブロックを組み立てて帆をはり、大きな船をつくる。全員がかわるがわる乗り込み、船長になり、魚つりをしたり、役を決めて、遊ぶ。

(写真⑥)

○帆と糸の部品以外は、子どもの手によって組み立てを分担。出来上がると大喜びで、人形を乗せたり、小物を乗せたりして遊ぶ。